

第 47 回 五條市地域公共交通会議（要点録）

日時：令和8年8月24日（月）

午後1時30分～午後3時00分

場所：五條市役所1階 コミュニティルーム

出席委員	五條市副市長	福塚氏（会長）
	五條市自治連合会 会長	益田氏
	宗桧上地区自治連合会 会長	岩木氏
	奈良運輸支局 首席運輸企画専門官	柏原氏（代理）
	奈良県 リニア・地域交通課	磯田氏（代理）
	奈良県バス協会 専務理事	岩崎氏
	奈良県タクシー協会 専務理事	葛城氏
	奈良交通株式会社 乗合事業部 課長	永田氏（代理）
	五條二見交通株式会社 代表取締役	油谷氏
	奈良県 五條土木事務所 計画調整課長	松本氏（代理）
	西日本旅客鉄道(株)阪奈支社 地域共生室	杉田氏
	奈良県 五條警察署 交通課	上田氏（代理）
	奈良県交通運輸産業労働組合協議会	
	事務局長	渡邊氏
	五條市 あんしん福祉部長	笹谷氏

1【開 会】

(会長挨拶)

○福塚会長

本日の議案（報告1件、協議3件）についての周知

2【議 事】

(協議会成立の報告（出席者14名：委員の過半数の出席による）)

報第1号 次期五條市地域公共交通計画（案）の進捗について

○福塚会長（議長）

はじめに、報第1号「次期五條市地域公共交通計画（案）の進捗について」を議題といたします。事務局から報告を求めます。

(事務局説明)

○福塚会長（議長）

アンケート結果をみると利用者によって求めているものが違うことが分かる。

例えば、高齢者は日中の買い物や通院で使いたい人が多い。一方で、通勤利用の方は朝夕の時間帯に利用したい人が多い。このように時間軸にして考えてみると、アンケート結果は、利用者によって相反する箇所がみられる。公共交通を改善するにあたっては、一つの課題としてまとめることが難しいと思う。それぞれのライフスタイルに即した計画としたいが、できることには限りがあるため、市民の皆様には一定程度ご理解いただいたうえで、公共交通計画をまとめていきたいと思う。事務局から説明した内容について、確認したい内容やご質問があれば、発言をお願いしたい。

○葛城委員

『3 課題と対応に向けた基本方針について』のうち、地域公共交通計画で向き合うべき課題とその対応方針として挙げられている「Ⅱ 社会情勢への対応」について、福祉的な視点とは具体的に何を指しているのか。また、全般的に、市が運用している安価な交通に対してサービスを充実しようとする計画に見受けられる。一方で、「交通軸と目標とする姿」をみると、タクシーの存在が脅かされるような計画になっていないか危惧している。このような傾向が他地域でも広まってくと、タクシーの利用低下が見込まれる。タクシーと適正な競合ができるよう、今一度考えていただきたい。

○事務局

一点目のご質問について、市では現在、福祉タクシー制度を提供しており、福祉利用に限ってであるが、タクシーの運賃補助を行っている。福祉的に利用される方は限られていることや、地域の輸送資源の総動員という考え方も踏まえ、福祉輸送事業者と協力した事業に着手したいと考えている。

二点目のご意見については、市と事業者が運営する公共交通の棲み分けについては、常々、事業者との話し合いを通じて考えている。いつでもどこでも来てくれるというのがタクシー事業者の強みであると考えており、担当レベルでは、市民へタクシー利用も促すこともある。市の公共交通サービスのみを充実させるのではなく、事業者と協力して進めていきたいと考えている。

○油谷委員

市民アンケートの結果のうち、よく通院している医療機関を市内外で分類したグラフについて、市内の内訳に含められている南奈良総合医療センターは市外であると思うが、市外の集計からは除外されているということか。

○事務局

南奈良総合医療センターは市外の医療機関であるが、市内に含めて集計されているような表現となっていたため改める。

○油谷委員

承知した。また、令和3年度のアンケート結果と比較してみると、公共交通に対する認知度について、「行き先や時刻は知らないが、運行していることは知っている」や「全く知らない」と回答した割合が改善しているとは思えない。

○福塚会長

市では取組内容を発信しているものの、情報が届いていないところがある。広く大きく発信するだけでなく、情報が浸透していない原因を明らかにし、知らない人やサービスが必要な人に向けた情報の発信方法も考えていくべきである。

○油谷委員

本会議の議題は地域公共交通を充実させる新たな取組について議論しているが、まずは多くの人に利用してもらうことが最優先であると思う。市が運営する地域公共交通に関しては、タクシーや路線バスとの棲み分けを踏まえると、どこまで利便性向上に重点を置くのか。一方で、令和3年度のアンケート結果と比較して、コミュニティバスやデマンドタクシーの認知度があまり改善していない点も含めて考えていただきたい。

○福塚会長

認知度の課題に特化した、現行計画での評価指標はあるのか。

○事務局

令和3年度に地域公共交通の認知度を調査した結果がある。令和3年度の結果を現状値

として、改善していくことを本計画の目標としている。また、公共交通に対する不満についての設問において、最も認知度が低いデマンドタクシーについては、令和３年度の結果と比較して、若干の改善はみられている。一方で、区域型デマンドタクシーの利用方法や運行経路が分かりづらいという声もいただいている。そのため、市ではマイ時刻表のサービス提供等を行っているが、今後、さらなる利用を促すための施策が必要であると考えている。

○杉田委員

駅利用者アンケートの結果のうち、JR 五条駅に到着するときと、JR 五条駅から出発するときについて結果に大きな差が生じた原因を説明させていただきたい。近隣駅の発停車時刻の兼ね合いもあるため、単純に鉄道と路線バスの乗り継ぎ時間を縮めることは難しいことによるものである。また、待ち時間が何分以上を超えると不満率が上がるかといったデータは保有しているか。

○事務局

鉄道とバスの待ち時間を短縮することが難しいことは承知している。そこで、待ち時間を短くするのではなく、待機場所の環境整備という形で対応できるのではないかと考えている。また、待ち時間と不満の相関データについては、今回のアンケートでは詳細に回答を求めているため、現状は把握していない。今後、関係者とも連携してそのような情報提供ができるよう努めたい。

○福塚会長

他、ご質問がないようであれば、事務局の説明でご理解いただいたということで、次の議題に移るものとする。

報第１号は原案のとおり承ることとした。

議第１号 交通空白解消事業 実証運行の実施（案）について

○福塚会長（議長）

次に、議第１号「交通空白解消事業 実証運行の実施（案）について」を議題といたします。事務局から説明を求めます。

（事務局説明）

○福塚会長（議長）

只今の報第２号、「交通空白解消事業 実証運行の実施（案）について」何か御意見・ご質問はありませんか。…それでは私から質問する。

例えば、朝夕の南部方面コースの１往復を減便することについては、中心市街地エリア直行便へ変更するという認識でよいか。また、これにより南部方面から中心市街地エリアまで直行できるようになるが、前日までに予約が必要であるという認識でよいか。

○事務局

そのとおりである。

○葛城委員

西吉野農業高校生も利用するということであるが、学生も前日予約をする必要があるのか。また、通学時間帯の本数は確保されているのか。

○事務局

西吉野農業高校生が利用する便は路線バスであるため、予約不要である。また、通学時間帯の本数は確保している。

○柏原主席運輸企画専門官

ゴーちゃんタクシーは奈良県下でも高い乗合率を維持している。

予約システムの導入後も、乗合率を維持してほしいと思う。システムによっては、二番目以降に乗車した人が遠回りさせられてしまうこともあるため、工夫していただきたい。

○岩崎委員

実証運行期間を令和8年10月～令和9年1月としているが、令和9年2～3月では、実証運行ルートから現行ルートへ戻すのか。

○事務局

運行ルートとしては、令和9年3月まで実証運行ルートで運行する予定である。

○岩崎委員

つまり、実証運行として令和9年1月まではデータ収集を行い、その結果を踏まえて、令和9年4月以降の運行ルートの判断を行うということによいか。

○事務局

そのとおりである。

○福塚会長

他、ご質問がないようであれば、本議題について承認いただいたものとして、次の議題に移るものとする。

議第1号は原案のとおり承認

議第2号 五條市地域公共交通計画の変更（案）について

○福塚会長（議長）

次に、議第2号「五條市地域公共交通計画の変更（案）について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○（事務局説明）

○福塚会長（議長）

只今の議第1号、「五條市地域公共交通計画の変更（案）について」何か御意見・ご質問はありませんか。

（委員から特に質問無し）

○福塚会長（議長）

他、ご質問がないようであれば、本議題について承認いただいたものとして、次の議題に移るものとする。

議第2号は原案のとおり承認

議第3号 五條市地域公共交通利便増進実施計画の変更認定申請（案）について

○福塚会長（議長）

次に、議第3号「五條市地域公共交通利便増進実施計画の変更認定申請（案）について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○（事務局説明）

○福塚会長（議長）

只今の議第3号、「五條市地域公共交通利便増進実施計画の変更認定申請（案）について」何か御意見・ご質問はありませんか。

（委員から特に質問無し）

○福塚会長（議長）

他、ご質問がないようであれば、本議題について承認いただいたものとして、次の議題に移るものとする。

議第3号は原案のとおり承認

その他

○福塚会長（議長）

そのほか、この際委員の皆さま何かございませんでしょうか。

○益田委員

コミュニティバスは奈良交通が運行しているのか。また、ゴーちゃんバスとの違いはあるのか。

○事務局

コミュニティバスは、市が奈良交通へ運行委託しているものである。ゴーちゃんバスは、コミュニティバスのうち五條コースの愛称のことである。

○益田委員

ゴーちゃんタクシーの利用方法について、自分の地域でも本線から外れた地域に集落がある。そういった人は停留所まで移動しなければならないのか。

○事務局

益田委員がおっしゃられているエリアにも停留所を設けている。また、予約人数に応じた車種で配車するようにしている。

○益田委員

今後高齢化が進む中で考えられる方策として、自治会単位で運用する車を使った移動支援を行うような他地域の事例があると思うがどうか。

○事務局

そのような事例が存在することは把握している。ただし、運営団体を立ち上げた当初は運営状況が良くても、いずれ主要な担い手が離れてしまうと、運営維持が難しい。

また仮に、タクシー事業者が地域から撤退した後に、自治会での運営維持が困難となれば、タクシー事業者に再度その地域の移動の担い手に戻ってもらうことが難しいことが懸念される。そのため、このような運営手法については、将来的な検討課題としていきたい。

○益田委員

定年後の元気な方については、担い手になりうるのではないか。また、タクシー事業者が撤退した後に、地域へ戻ってもらえないことが懸念される点に関しては、ニーズがあればタクシー事業者は戻ってくると思う。

○福塚会長

本会議では、あくまでも五條市の地域公共交通として、広く議論していることについてご留意いただきたい。さまざまな立場の市民について、現状の制度・規制の範囲内で総合的に考えるものであることをご理解いただいたうえで、議論を進めさせていただきたい。

事務局連絡

○事務局

議第 1 号、議第 2 号及び議第 3 号については議決いただいた内容を基に申請事務を進めること

報告であったように、各種計画策定に向けて進捗があり次第報告及びご意見を求める機会を設けるため、協力を依頼。

【閉 会】

(閉会挨拶)